



発信者 ID ブロック

- [発信者 ID ブロックに関する制約事項 \(1 ページ\)](#)
- [発信者 ID ブロックについて \(1 ページ\)](#)
- [発信者 ID ブロックの構成 \(2 ページ\)](#)
- [発信者 ID ブロックの構成例 \(6 ページ\)](#)
- [発信者 ID ブロックの機能情報 \(6 ページ\)](#)

発信者 ID ブロックに関する制約事項

発信コールに関する発信者 ID ブロックは、Foreign eXchange Office (FXO) ポート経由の PSTN コールには適用されません。FXO 接続の加入者線での発信者 ID 機能は PSTN サービス プロバイダーによって制御され、場合によっては発信者 ID ブロック サービスへの加入が求められることがあります。

発信者 ID ブロックについて

発信コールに関する発信者 ID ブロック

電話機ユーザは、特定の ephone-dn からのコールに関して発信者 ID の表示をブロックすることや、特定のダイヤルピアからの発信コールで名前または番号を選択によってブロックすることができます。

特定の ephone-dn からの発信コールについての発信者 ID 情報の表示はコールごとにブロックできるため、ユーザは必要に応じてプライバシーを保つことができます。発信者 ID ブロック用のコードは、システム管理者が Cisco Unified CME で定義します。着信側の電話機に自分の番号を表示させたくない場合、ユーザは発信する前にそのコードをダイヤルします。発信者 ID は送信されますが、presentation パラメータが「restricted」に設定されて、発信者 ID は表示されません。

特定の内線からのローカル コールに対して CLID 表示をブロックすると、遠端ゲートウェイ デバイスは、この ephone-dn から受信するコールの発信側情報の表示をブロックするよう通知されます。

または、CLID 情報のローカル表示を許可し、発信 VoIP コールに関して CLID の名前または番号を別個にブロックできます。この設定には、VoIP 経由で発信する外部コールに対する発信者 ID 表示を防止しながら、ローカル コールに対する発信者 ID 表示を許可できる利点があります。この機能は、ISDN 経由で発信する PSTN コールには使用できません。

発信者 ID ブロックの構成

SCCP 電話機でのすべての発信通話の発信者 ID ブロック

特定のダイヤルピアから発信 VoIP コールに関して CLID の名前および番号をブロックするには、次の手順を実行します。



制約事項

- 発信者 ID はローカル コールには引き続き表示されます。特定のディレクトリ番号からのすべての発信通話で発信者 ID を非表示にするには、**caller-id block** コマンドを使用します。[SCCP 電話機のディレクトリ番号からの発信者 ID をブロック \(3 ページ\)](#) または [発信者 ID ブロックの確認 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **dial-peer voice tag [pots | voip]**
4. **clid strip**
5. **clid strip name**
6. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router> enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	dial-peer voice tag [pots voip] 例： <pre>Router(config)# dial-peer voice 3 voip</pre>	ダイアルピア コンフィギュレーション モードを開始します。 (注) POTS インターフェイスが ISDN の場合は、POTS ダイアルピア に関して発信者 ID ブロックを設定できます。この機能は FXO/CAS 回線では使用できません。
ステップ 4	clid strip 例： <pre>Router(config-dial-peer)# clid strip</pre>	(オプション) VoIP 通話で送信される CLID 情報から発信番号を削除します。
ステップ 5	clid strip name 例： <pre>Router(config-dial-peer)# clid strip name</pre>	(オプション) VoIP 通話で送信される CLID 情報から発信者名を削除します。
ステップ 6	end 例： <pre>Router(config-dial-peer)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

SCCP 電話機のディレクトリ番号からの発信者 ID をブロック

電話機ユーザが、特定のディレクトリ番号からの選択した発信コールに関して発信者 ID 表示をブロックするため、またはディレクトリ番号からのすべてのコールに関して発信者 ID 表示をブロックするためにダイヤルできるコードを定義するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **telephony-service**
4. **caller-id block code code-string**
5. **exit**
6. **ephone-dn dn-tag**
7. **caller-id block**
8. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例：	特権 EXEC モードを有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
	Router# enable	<ul style="list-style-type: none"> プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例 : Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	telephony-service 例 : Router(config)# telephony-service	telephony-service コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	caller-id block code code-string 例 : Router(config-telephony)# caller-id block code *1234	(任意) 発信者 ID を表示しないよう、発信前にユーザが入力できるコードを定義します。 <ul style="list-style-type: none"> code-string 最大 16 文字の数字文字列。最初の文字はアスタリスク (*) にする必要があります。
ステップ 5	exit 例 : Router(config-telephony)# exit	telephony-service コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	ephone-dn dn-tag 例 : Router(config)# ephone-dn 3	ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 7	caller-id block 例 : Router(config-ephone-dn)# caller-id block	(オプション) このディレクトリ番号から発信されるすべての発信通話に関する発信者 ID 情報の表示をブロックします。 このコマンドは、ephone-dn-template コンフィギュレーションモードで設定して1つ以上のディレクトリ番号に適用することもできます。ephone-dn の設定は ephone-dn-template の設定よりも優先されます。
ステップ 8	end 例 : Router(config-dial-peer)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

発信者 ID ブロックの確認

show running-config コマンドを使用して、発信者 ID ブロックパラメータを表示します。これらは、出力の telephony-service、ephone-dn、または dial-peer 部分に表示されます。

例 :

```
Router# show running-config

dial-peer voice 450002 voip
 translation-profile outgoing 457-456
 destination-pattern 457
 session target ipv4:10.43.31.81
 dtmf-relay h245-alphanumeric
 codec g711ulaw
 no vad
 clid strip
!
telephony-service
 fxo hook-flash
 load 7960-7940 P00305000600
 load 7914 S00103020002
 max-ephones 100
 max-dn 500
 ip source-address 10.115.34.131 port 2000
 max-redirect 20
 no service directed-pickup
 timeouts ringing 10
 system message XYZ Company
 voicemail 7189
 max-conferences 8 gain -6
 moh music-on-hold.au
 caller-id block code *1234
 web admin system name cisco password cisco
 dn-webedit
 time-webedit
 transfer-system full-consult
 transfer-pattern 92.....
 transfer-pattern 91.....
 transfer-pattern 93.....
 transfer-pattern 94.....
 transfer-pattern 95.....
 transfer-pattern 96.....
 transfer-pattern 97.....
 transfer-pattern 98.....
 transfer-pattern .T
 secondary-dialtone 9
 after-hours block pattern 1 91900 7-24
 after-hours block pattern 2 9976 7-24
!
 create cnf-files version-stamp 7960 Jul 13 2004 03:39:28
!
ephone-dn 2 dual-line
 number 126
 preference 1
 call-forward busy 500
 caller-id block
```

発信者 ID ブロックの構成例

発信者 ID ブロックコードの構成例

次の例では、電話ユーザーが発信通話で発信者 ID をブロックするために入力する *1234 のコードを定義しています。

```
telephony-service
  caller-id block code *1234
```

SCCP 電話機のディレクトリ番号からの発信通話の発信者 ID ブロックの構成例

次の例では、タグ 3 の ephone-dn に CLID ブロックを設定します。

```
ephone-dn 3
  number 2345
  caller-id block
```

次の例では、VoIP 通話での CLID 名と番号の表示をブロックしますが、国内通話では CLID 表示を許可します。

```
ephone-dn 3
  number 2345
  dial-peer voice 2 voip
  clid strip
  clid strip name
```

発信者 ID ブロックの機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 発信者 ID ブロックの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
発信者 ID ブロック	3.0	国内通話ごとの発信者 ID ブロックが導入されました。
	1.0	発信コールに対する発信者 ID ブロックが導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。